

「自分はどう生きるか」と問い続け、スポーツを通じた人間形成を実践



とりうち ひであき
鳥内 秀晃

* 関西学院大学 アメリカンフットボール部 前監督

■プロフィール

1958年11月26日生まれ。大阪府出身。

元々はサッカー選手で、大阪府立摂津高校在学時に全国高校選手権の大舞台を経験している。

1978年、関西学院大学文学部に入学し、アメリカンフットボール部に入部。1年時の秋からディフェンスバック、キッカーとして試合に出場し、副将を務めた4年時は守備のリーダーとして活躍。

大学卒業と同時にアメリカにコーチ留学し、サザンオレゴン大学（1982～1984年）とUCLA（1985年）で学んだ。帰国後、1986年からアシスタントヘッドコーチ兼守備コーディネーターとしてファイターズを指導し、1992年に監督就任。

以降、甲子園ボウルの優勝は11回を数え、2002年にはライスボウルも制覇した。

2016年には世界大学選手権日本代表チームも指揮。

2019-2020年シーズンを最後にファイターズ監督の座から退く。

鳥内監督が就任した1992年以来、学生日本一を決める甲子園ボウル優勝12回を数える。

その強さの根源は「教育」にあり、学生たちに「自分はどう生きるか」「どんな男になりたいねん」と問い続け、スポーツを通じた人間形成を実践してきた。

■著書

どんな男になんねん 関西学院大アメリカンフットボール部鳥内流「人の育て方」（ベースボールマガジン社）

講演テーマ

1. 分業制スポーツにおける組織論
2. 指導者の為の指導者講座
3. 次なる一步の為の考え方

アメリカンフットボールを通じた「人間形成」という教育理念のもと、関西学院大学 アメリカンフットボール部を12回日本一に導いた指導方法をわかりやすく、実践的に使えるように話します。

ビジネスでも使われるPDCA、OODAを使い学生達に組織単位、個人単位で主体的に行動する大切さを教え実践させてきました。人材教育では答えを与えずに気付かせ、学習する習慣を作り、正しいのかそうでないかを判断できるように教育し、理想にはめ込まず、それぞれに見合ったコーチングを実践してきました。

■講演内容

- ・ 主体的に行動する大切さ… 目標設定、PDCA+徹底など
- ・ 人材育成… コミュニケーション、人として当たり前を当たり前にする、それぞれに見合ったコーチングなど
- ・ 指導者の為の指導者講座…これまでの経験を活かし、指導者など組織の上層部に対し、選手や部下への指導の仕方や心構えをお話します。